

「とよはし ヘルスケア リビングラボ」を開催します

令和6年度豊橋市健幸なまちづくり推進事業

豊橋市で働く人たちの メンタルヘルス課題 みんなで解決しよう。

とよはし ヘルスケア リビングラボ

同じ課題を抱える人々が集まり、情報の共有や課題の原因を分析・特定する手法を学び、解決への方向性を見出す。そして良いと思った解決策を試して、検証してみる…

そんな **市民コミュニティ主導型** の課題解決共創活動をスタートします。

今回のテーマは **従業員のメンタルヘルスケア**

企業経営者や人事・健康経営担当者 の皆様のご参加を募集します。

「従業員のメンタルヘルスケア」をテーマに、課題解決に向けた方法論を学ぶワークショップを全2回開催します。

- 日時：【第1回】 令和6年9月5日(木)午後1時30分～午後4時
と ▶参加者同士での課題共有のほか、課題分析・特定への方法を学びます。
- 内容 【第2回】 令和6年10月22日(火)午後1時30分～午後4時
▶課題の原因分析・特定を行います。
- 会場：豊橋市保健所 1階 講堂
- 対象：市内事業所の経営者・人事担当者・健康経営推進担当者
(全2回のワークショップに参加できることが必須です)
- 定員：30名(申込順・参加料無料)
- 申込方法：8月30日(金)までにチラシ掲載の申込フォームから
- 主催：豊橋市保健所 健康増進課
- 特別協力：中部経済産業局
- 協力：明治安田生命保険相互会社



市ホームページはこちら

■イベントチラシ：別添のとおりです。

■リビングラボとは？



「リビング」とは、「居間」や「生活」のことで、身の回りの社会課題について、解決するための新しいサービスや商品を市民・企業・行政等との共創によって生み出し、それらを実際の生活空間で試してみる研究の場（＝ラボ）が、リビングラボです。

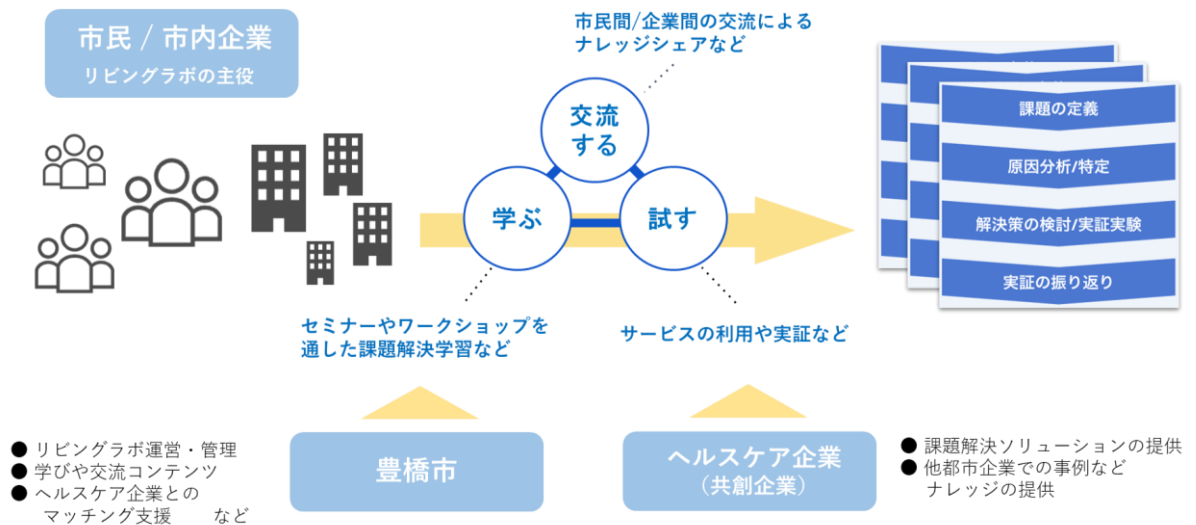
80年代に欧州で生まれた理論で「イノベーションには生活者の視点が欠かせない」とされ、企業の商品開発において、社内だけのクローズドな環境で取り組むのではなく、市民や自治体など社外の人も巻き込んだオープンな環境で取り組む手法です。自社だけでは気づかない、生み出せない新たな価値をつくることができます。

この手法をまちづくりの課題解決に応用している自治体は少しずつ増えてきており、正式に「リビングラボ」と称して取り組みを始めるのは、豊橋市が東海エリアでは初となります。

画像）経済産業省「リビングラボ導入ガイドブック」

■豊橋市のリビングラボのしくみ

- ▶ 「ヘルスケア」をテーマに、同じ課題を抱える仲間とともに、課題の分析・解決方法を学び、見出した解決施策を試してみる取組です。一人で悩まず、みんなで解決することをコンセプトとしています。
- ▶ 今年度は健康経営課題である「従業員のメンタルヘルスケア」に取り組みます。今後も市民のニーズに合わせて、テーマを決め、課題解決に取り組んでいきます。



令和6年度豊橋市健幸なまちづくり推進事業

豊橋市で働く人たちの メンタルヘルス課題 みんなで解決しよう。

とよはしヘルスケアリビングラボ

参加費
無料

定員30名予定
(申込順)

同じ課題を抱える人々が集まり、情報の共有や課題の原因を分析・特定する手法を学び、解決への方向性を見出す。そして良いと思った解決策を試して、検証してみる…

そんな**市民コミュニティ主導型**の課題解決共創活動をスタートします。

今回のテーマは **従業員のメンタルヘルスケア**

企業経営者や人事・健康経営担当者の皆さんのご参加を募集します。

9月5日 木
13:30~16:00

START

会場

豊橋市保健所・保健センター 講堂
(豊橋市中野町字中原100番地)

とよはしヘルスケアリビングラボ 共創パートナー



fun-well
代表
松本 生

共に学び、
悩みを共有し、
皆さんが目指す状態
を実現するために
伴走支援します！



(株) Real Discovery Outdoors
代表取締役社長
小澤 郷司

申込フォームはこちら

パソコンの方

市ホームページにて

「リビングラボ」

と検索

スマートフォンの方



活動内容

本紙 裏面をご覧ください。

応募条件

- ・市内事業所の経営者・従業員
- ・全2回のワークショップへ参加可能

応募締切

8月30日(金) 17時まで

主催/問合せ先

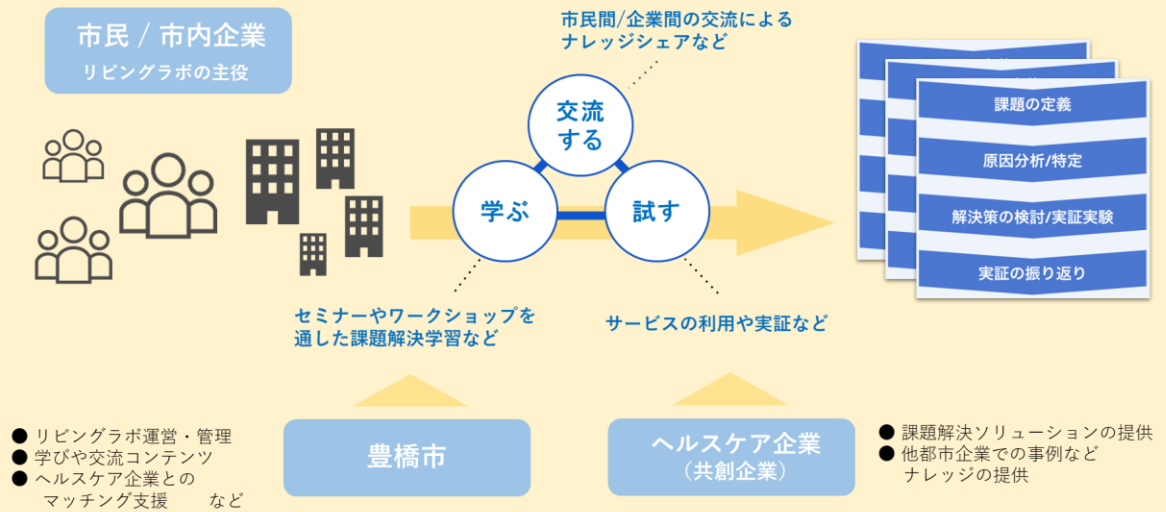


TEL 0532-39-9116 (保健所健康増進課)



その課題、自社で悩まず、みんなで解決を目指しませんか？

リビングラボのしくみ



活動内容

課題の文書化
-仮説立て-

データ収集
-証拠集め-

課題分析
-確認-

課題定義
-課題の特定-

原因分析
-原因の探索-

第1回 ワークショップ

9月5日
(木)

課題を企業間でシェア

- 課題解決への方法論の学びと体験をおこなうワークショップ
- 次回に向け、自社での進め方（データ収集～定義）を決め、宣言！

宿題

プロジェクトチャーター
の作成

データを収集する
(社内調査など)

課題の確からしさを分析
(パレート図作成など)

分析結果から課題を定義する

第2回

10月22日
(火)

実証

ヘルスケア企業の
サービスを自社でお試し

- 課題の原因を分析し、特定する方法論を学ぶ
- 解決すべき課題の主要な原因を明らかにする
(原因仮説を立てる)



はじめよう、オープンイノベーション。

豊橋市 リビングラボ



(豊橋市ホームページ)

- 主催 豊橋市保健所健康増進課
- 共創パートナー fun-well, 株式会社Real Discovery Outdoors
- 特別協力 中部経済産業局
- 協力 明治安田生命保険相互会社

本事業は令和5年度ガバメントピッチ（主催：関東経済産業局 共催：中部経済産業局ほか）のマッチング成果により、実施に至るものです。